

未来につながる“源”体験を。

茶々とどろき保育園

子どもたちが(大人たちも)安心して、毎日を安全に、健やかに過ごすこと。

それは保育園になくてはならない条件です。でも、それだけじゃもったいない。

なんといっても、この時期のココロとカラダは、外界に向けて大きく開かれるのです。

何気ない自然の美しさに魅了されたり、季節の移り変わりを風で感じたり、生き物に親しみを抱いたり、

初めて聴く音楽の楽しさに胸おどらせたり、夢中になって遊んだり、芸術魂を爆発させたり。

時には望んだとおりにならず、悔しい思いをして涙することも大切な体験です。

なぜなら、そのようなホンモノの原体験は、子どもたちの成長を広げる“源”体験になるからです。

それらはやがて好奇心や気づき、様々な人々との関係性を育み、自ら学び、考え、行動するチカラになります。

困難な状況でも、乗り越えられるという自信と、試行錯誤して解決しようとする力強さを養います。

「オトナな保育園」というコンセプトを掲げ、子どもたちを<一人の人間>として見つめ、向き合ってきた

茶々保育園グループは、子どもたちのそのような可能性を信じ、寄り添う保育を深化させます。

求められる答えを出すよりも、<自分で答えを創造すること>が必要な時代を生きる子どもたちのために。

未来につながる“源”体験となる保育をテーマに、茶々とどろき保育園は歩み続けます。

